

各地の話題 東松島市

「農家の思い届けたい」 地元の恵みを多彩なジェラートに

2026年1月1日号掲載

全国農業
新聞
NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS

東松島市野蒜ヶ丘でジェラート店「H&H Labo」を営む二宮真美さんは、地元農家の食材の価値を届けることに力を注いでいる。店名の「H&H」には“東松島をハッピーにしたい”との思いが込められ、その願いを支えているのが市内の生産者たちだ。農家から届く野菜や果物を前に、「この素材をどう生かすか考える時間が楽しい」と二宮さんは笑う。

店では季節や日替わりでメニューが変わり、農家の努力がそのまま一杯の味に表れる。最近トマトとクリームチーズ、カボチャとマロンの2層仕立てが登場し、素材の個性が際立つ。紅はるか、きな粉、米、イチジクなど、市内産の恵みを生かしたフレーバーも人気だ。夏は爽快感のあるラベンダーが好評だったという。冬には柚子やかぼす、ちぢみほうれん草の提供も予定している。

新鮮な素材があるからこそ生まれる多彩なジェラート。「東松島には誇れる食材と、それを育てる人がいる」と二宮さん。ジェラートを通じ、農家の思いと地域の魅力を届けたいと意気込んでいる。

【記事提供】 東松島市農業委員会

ジェラートを手に二宮さん



素材の個性が光る多彩なジェラート

